

## 対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力 ホジャンド市第4クリニック医療機材整備計画供与式報告

平成27年11月3日、「ホジャンド市第4クリニック医療機材整備計画」の供与式典がホジャンド市内で行われました。人口17万を有するホジャンド市は、タジキスタン第2の規模を誇る都市であり、シルクロード時代より続く歴史ある街です。街の中心にはシルダリヤ川が悠々と流れ、街を南北に隔てています。

現在、街は市の中心機能が集約されている川の南側を中心に栄えています。本計画が行われたホジャンド市第4クリニックは、川の北側に存在する唯一の公共医療施設であり、近隣から年間37,000人ほどの患者が訪れます。川の北側に住む住民にとって重要性の高い同クリニックですが、医療機材は全て1967年の病院設立時に導入されたもので、老朽化の著しいものでした。

今般本計画が無事に終了したことにより、X線診断装置、超音波診断機、理学療法器を含む医療機材10種が一新されました。供与式に先立ち行われた機材デモンストレーションでは、ホジャンド市長や病院関係者から歓声があがり、供与式典中、日本の支援に大きな感謝が述べられました。



新規に設置された高性能の超音波診断機のデモンストレーションを行う医師。



地元メディアが多数撮影する中、整備機材の視察が行われました。



刷新されたX線診断装置は、全身診断が可能な大型機です。



供与式では、ホジャンド市長およびクリニック院長から日本の支援に感謝が述べられました。